

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：義務教育指導課

担当名：教育指導担当

内線：6749

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B59	理科教育振興・支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成	
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成		
<p>1 事業の概要</p> <p>学年が進むにつれて「理科離れ」が進んでいることが危惧されている。そこで、「科学の甲子園ジュニア」の県予選会を実施し、理科好きな生徒の裾野を広げる。また、小・中学校の理科教育の接続を改善するとともに、教員の理科の観察・実験に関する指導力の向上を図るため、各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、観察・実験の指導に関する研究協議を実施する。</p> <p>(1) 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 813千円 需用費等の節約による減</p> <p>(2) 理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業 201千円 需用費の入札差金発生に伴う減</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 1,500千円 「科学の甲子園ジュニア」県予選会を実施する。</p> <p>イ 理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業 1,200千円 小・中学校の理科教育の接続を改善するとともに、教員の理科の観察・実験に関する指導力の向上を図るため、各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、観察・実験の指導に関する研究協議会を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」県予選会実施 予選を通して、県代表チーム(6～8名)を決める。</p> <p>イ 理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業 各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を集め、県内12会場で観察・実験の指導に関する研究協議会を実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」県予選会実施 理科好きな生徒の裾野が広がる。</p> <p>イ 理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業 教員の理科の観察・実験の資質や指導力の向上が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」県予選会実施</p> <p>イ 科学技術振興機構との連携</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 需用費等の節約による減額。</p> <p>イ 理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業 需用費の入札差金発生に伴う減額。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (科学技術振興機構3/4・県1/4)</p> <p>(2) (国10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	1,014	201	612					201	1,686
現計額	2,700	1,200	1,125					375	